

この計画の内容ですが、まず、土地の200坪は坪単価1万円以内の土地を求めます。当然、候補地となるのは通勤には不便な過疎地になります。その上、宅地ではありません。完全な畑地でもありません。後ろに（北側に）山林が広がり、南側が開けた明るい場所なら充分です。もちろん、土石流の恐れのないところを探します。日本全国過疎地ですから、いくらでもあります。

家ができれば家族が移住して、まず小さくても家庭菜園を作ります。畑地でなくても野菜は作れます。家の周りは190坪あるのですから、開墾から始めるのです。三年もすれば野菜の自給自足ができます。周囲には未開墾の土地があるので、家族で力を合わせて野菜づくりに励めば売りに出せるくらいの野菜の収穫はできます。

平屋（ロフトはあるが）ですから屋根を軽くできます。地震で屋根に押しつぶされる心配がありません。

台風には、南側に防風林を植えます。木があるだけで強風も思い切り和らぎます。この種類は落葉樹にします。夏は風と日差しを遮ってくれます。冬には日差しを室内まで入れてくれます。

大雨には、川の流れから離れて建てて、後ろの山が崩れないような地形を選びます。竜巻も、山間部なら発生しません。津波は、海から離れた高台なら安心です。

それでも、地震や火事での被災は、運が悪かったと諦めて立て直しても300万円なら二重ローンで苦しい目に遭うことも少ない。

子供が成長しても土地はあるので増築はし放題、物置も造り放題、ローンも500万円を十年で返済計画を立てれば、3、4千万円を一生かけて返すことを考えれば楽勝です。

購入資金は地元の農協から。金利は？これこそ故郷再生資金として国が農協に払ってくれれば良い。